

国分寺駅北口再開発・ 市役所のあり方を質問

無党派（民主党国分寺クラブ） 三葛 敦志

●国分寺駅北口再開発関連

問) 駅前広場を、収入増につなげる工夫を。

→現行の都市計画決定では活用は困難。

問) 交通広場修景ワークショップは時期尚早。

→認可に向けての準備として必要。

問) 鋼材費は数ヶ月で3割増。中国地震もあり、更なる総事業費増にもつながりかねない。

→制御できない要因であることは確か。

問) いくらまでなら再開発を進められるのか？

→平成25年度の基金残高残34億円まで。

問) 財政と担当の意思疎通が極めて不十分だ。

→一丸となって進めたい（副市長）。

問) 豊島区の駐輪場課税のような考えもある。鉄道事業者にも更に負担を求める方策を。

→地下駐輪場についてはこれからの交渉。

問) 南口スロープは、再開発事業全体で検討を。

→課題は認識。具体的にこれから検討する。

●市役所仮庁舎の耐震性

問) 仮設庁舎の耐震強度は1.5倍にすべきという基準があるのに、1倍しかなく低すぎる。

→災害対策本部は市長室のある第四庁舎に。

問) 市役所の場所は速やかに決定すべきだ。

→北口・他の施設の動向見て対応。(市長)

問) 市長は政治生命をかけて、市民に嫌われてでもやりぬく覚悟を持って欲しい。

中学校給食について 中学生の視点から問う

国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) 「給食が不味い」という中学生の意見に対して、「わがまま過ぎる」とか「好き嫌いが多く」と評価されているのを聞いた。中学生は、身長・体重・運動量・食欲など、個人差が非常に大きい時期である。カロリーや塩分、量において、あくまで平均値をもとに一律に作成された給食に対して、多い少ない、濃い薄い、不味い美味しいと評価が分かれるのは当然のことである。これからの食を考える上で、文化や嗜好、体質や食欲などを含め、お互いの多様性を認めていくという観点が大事であるのに、中学校給食が導入されたことによって、異なった感想や嗜好が排除されたり、給食以外の選択に引け目を感じるなど、多様性の否定やお互いの規制につながるようなことがあってはならない。

また、行政の都合や栄養士の思い込みが優先され、子どもに我慢を強いる給食になってはいないか。押し付けではない、楽しい食事にするためにも、量や味付けの問題も含めた中学校給食の課題について、大人だけで考えて決めるのではなく、当事者である中学生自身が、自ら考え、学び、意見交換しながら、よりよい解決に向けた取り組みができる機会を保障していただきたいが、いかがか。

教育長) 頑張ってもらいたい。

要支援者の自立生活支援こそ 今すべきこと

市民サイド 亀倉 順子

問=法の改正に伴い生活援助等必要なサービス利用に制限が生じている。市として対応を。

福祉部長=介護保険では限界が生じている。高齢者全体の施策として検討する。

問=現在、老老介護が46.7%。緊急ベットの確保し、レスパイトにも活用を。新設事業者と検討を。

福祉部長=具体的な協議を事業者とする。

問=要支援者が利用する施設に義務化された火災警報器設置に積極的支援を。

福祉部長=早期設置に努力する。

問=障がい者就労支援策として市内施設を活用し、就労移行支援事業にも着手を。

福祉部長=検討し、設置する。

～「ごみ減量」は緊急課題！危機感を持って～

問=昨年減量目標を達成しなかった。要因は？

環境部長=P R・指導不足。調査の結果、異物混入率が高い共同住宅もあり、要因の一つだ。

問=「各自でごみに責任を持つ」・戸別収集の根拠を持ち、各戸に工夫・努力の協力を求めよ。

環境部長=規則等を整備し、共同住宅等に協力を求めていく。

問=環境施策に係わる計画が4本あるが、目標値が異なっている。共通の目標を持ち、庁内に徹底すべき。

清掃担当部長=一本化し、進行管理を実施する。

災害から市民の暮らしを 守るための努力を

日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

○防災について

問) 四川大地震により市民の防災意識が高まっている。市立小中学校の耐震化（補強）は、国の責務だ。国からの補助の拡大を求める。併せて現状を早急に広報することを求める。

部長) H Pを含め、広報等で知らせていく。

問) 義務化された住宅用火災警報器の設置に対し、障害者や高齢者の方、介護を受けている方のところには設置費用の助成を求める。

部長) 多摩26市中、8市で高齢者対応・障害者対応で1～2万円程度助成している。

市長) 総務部、福祉保健部に検討させたい。

○少人数学級について

問) 市独自施策で小学校1学年38人以上のクラスへの非常勤講師の配置を評価している。実績を基に、都に対し少人数学級を求めるべき。

市長) 市長会としても引き続き努力したい。

問) 独自施策の更なる拡大も検討してほしい。

市長) 対応を考えてみたい。

○非正規職員について（官製ワーキングプア）

問) 早急に臨時職員の時給を引き上げるべき！

部長) 引き上げの努力はしていきたい。

「市長の職員削減によって非正規職員が増えていく。しかも権利が奪われている方もいる。体制・待遇の改善を」と求めました

介護保険見直しは 高齢者生活を支える視点で

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

問) 市民調査報告書でも介護保険制度は知られていない。また、保険料・利用料の負担が重い、希望するサービスが利用できないとある。高齢者の生活実態を踏まえた見直し・改善を。

市) ①生活の不安を解消する視点が必要。②ヘルパーの人材確保・処遇改善が重要。

問) 制度導入5年後の法改正でサービスの抑制を指摘してきたが、市はあまりないとの見解。調査にある利用制限の検証をして改善を。

市) 個別に対応したがそれでもこの結果、検討の大きな課題と受け止め対応する。

「ひかり保育園本園舎計画は現地で早急に」

問) 本園舎計画は施政方針で撤回された。しからは現園舎用地で一刻も早く園舎建設を。

市) 民設民営を白紙に戻したことはない。

問) 耐震性問題という市の事情での仮園舎なら同時に本園舎計画提案は市長の責務。

市) 現用地が新園舎として最適か検討が必要。

★ひかり保育園は現用地か他にふさわしい場所で即刻建設を。待機児数も管外保育も三桁の規模、新たに私立認可保育園誘致の検討も求めた。

「国分寺線踏切交差の安全対策は平面で早急に」

問) 暫定平面交差も含めて再考を求めた附帯決議を受け、市長の方向性はどこにあるのか。

市) さまざまな角度から検証した上で判断する。

現市役所を中心に 恋ヶ窪駅周辺まちづくりを

市民サイド 釜我 健二

問=庁舎建設断念の原因は北口の財政問題だけでなく、市長の市民軽視の手法もあったのでは。

市長=位置についてなど不十分さを反省する。

問=不便な分散庁舎を大至急解消すべきだ。

部長=議員の意を汲む。9月に計画を示す。

問=夜は旧庁舎周辺は真暗だ。照明の増設を。

部長=駐輪場と西側通路を配慮していきたい。

～恋ヶ窪駅周辺のまちづくりについて～

問=庁舎は現庁舎（戸倉）に決定し、市長は恋ヶ窪駅周辺のまちづくりの組織を確立すべきだ。

市長=今後、総合的観点から検討し、市民参加でこの地域のあり方を考えていきたい。

～西国分寺駅周辺の課題について～

問=①国分寺保育園前と日本芸術高校前に信号の設置を。②姿見の池周辺の「整備方針」を「計画」にして整備促進を。③車窓景観を景観条例に取り入れを。④中央線西国分寺駅東の落書きをJ Rと協力して緑化などで解消を。

部長=①保育園前は信号近くで困難。高校前は上申中だ。②計画にする工夫をしたい。③反映に努める。④J Rと協議した。緑化も協議する。

～許せない医療制度改悪について問う～

問=後期高齢者医療制度は理念から間違いだし、高齢者に痛みを感じさせる目的など許せない。

市長=与野党を超えてよく話し合ってください。

委員会所属 議員の変更

平成20年第2回定例会から、議会運営委員会委員が三葛敦志議員、甲斐よしと議員から木村徳議員に変更になりました。

議事担当（内468）

会派代表者 の変更

平成20年第2回定例会から、無党派議員の代表者が木村徳議員から甲斐よしと議員に変更になりました。

議事担当（内468）